

# 病害虫 防除だより

No. 387

令和8年5月21日

## ニカメイガ(第一世代幼虫)多い予想、適期防除を!!

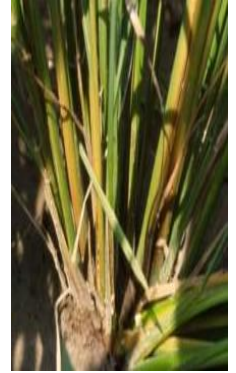
昨年、坂井地区を中心に福井や奥越などでニカメイガが発生し、特に6月に発生する第1世代幼虫は、地際部葉鞘の変色や心枯れの被害を及ぼし、一部で問題となりました。

発生量の根拠となる、昨年水田で越冬して成虫になった「越冬世代成虫」の発生は**平年より多く**、高温の影響により**平年よりも早くなる見込み**です。

例年発生がみられる地域で田植(直播播種)前の場合、本虫対象の育苗箱施薬(種子塗抹処理)を必ず行い、田植(播種)後で直播栽培の種子塗抹処理、移植栽培の育苗箱施薬により本虫の防除を行っていなかったり、**前年発生が多かった地域**では、防除効果の高い時期にしっかり防除を行いましょ!!



幼虫による食入



葉鞘変色茎の様子

農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しましょう

### 1 発生時期

フェロモントラップによる成虫捕獲は、地域により異なるが、越冬世代成虫発生最盛期は平年よりやや早い**5月4半旬(5/18頃)**と考えられます。

第1世代幼虫の加害は、**5月6半旬(5/28頃)以降**に増加する見込みです。

### 2 防除適期(本田防除の場合)

防除適期	
液剤	6月2日～6月7日頃 (平年：6月5日～10日頃)
粒剤	5月28日頃 (平年：5月31日頃)

### 3 防除薬剤

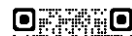
薬剤名	IRACコード	使用濃度	使用量(10a)	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
エルサン乳剤(劇物)	1B	1000～1500倍	60～150ℓ	収穫7日前まで	散布	2回以内
パダンSG水溶剤(劇物)	14	1500倍	60～150ℓ	収穫21日前まで	散布	6回以内
パダン粒剤4(劇物)		—	3～4kg	収穫30日前まで	散布	6回以内

※無人航空機(無人ヘリやドローン)での使用は、最新の農薬登録情報(以下アドレス)からご確認ください

#### 防除の注意事項

- 粒剤を使用する場合は、1週間程度湛水し、かけ流しはしない。また漏水田では使用しない。
- パダン粒剤4、パダンSG水溶剤はナス科野菜に掛からないように注意し、散布する。

※発生がだらつく場合もあるので、防除してもまだ被害が見られるようなら、追加防除を検討しましょう!! (確実に密度を下げ、第2世代幼虫による白穂などの被害抑制につながります)



◇◇◇最新の農薬登録情報(<https://pesticide.maff.go.jp>)を確認して下さい◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先：0776(54)9315

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/bouivo.html>

二次元コードをスキャンしてください

福井県病害虫防除室

